

国内の機関リポジトリへの著者識別子 登録機能の実装の推進とその課題

国立情報学研究所オープンアクセスサミット2013

平成24年6月6日 学術総合センター

金沢大学情報部情報企画課副課長

橋 洋平

発表内容

CSI委託事業（平成22～24年度）（領域2）

「オープンアクセス環境下における同定機能
導入のための恒久識別子実証実験」

の実施内容を年度ごとに報告

実証実験の
実施



成果と
課題



今後の展望

事業の目的

国内の機関リポジトリへの**著者識別子登録**
機能の実装を推進するための事業

著者識別子とは

著者に付与される恒久的一意のID番号

(例) 科研費研究者番号(e-Rad番号)

研究者リゾルバー番号

各大学の独自の番号 …

著者識別子が求められる背景

インターネット環境での論文同定の困難さ。

＝名寄せと識別が求められる

名寄せ（同じ人を集める）

識別（違う人を区別する）

例えばこういう研究者の場合

日大学では4種類の表記

- A大学 - 院生時代「金沢, りほこ」
- B大学 - 助教時代「金沢, りほこ」「Kanazawa, Rihoko」
- C大学 - 准教授時代「金沢, りほこ」「Kanesawa, Rihoko」
- C大学 - 准教授時代「石川, りほこ(改姓)」
- D大学 - 海外勤務時代「Ishikawa, Rihoko」
- B大学 - 教授になった後「石川, りほこ」「Ishikawa, Rihoko」

著者名(ID)	Sato, Shinichi
雑誌名	Sato, Shinichi(1000020215792) Sato, Shinichi(1000030196240)
資料種別	一覧 Sato, Shinichi
機関名	一覧 Sato, Shinichiro

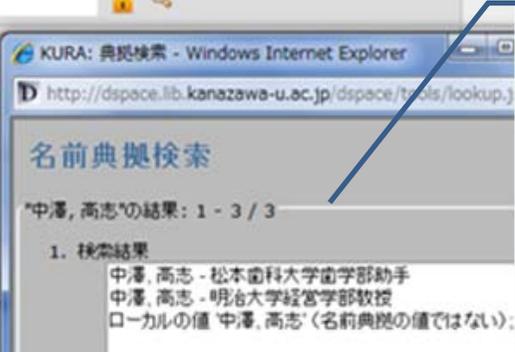
電子ジャーナル, 商用データベースでは導入が進みつつある。

平成22年度 金沢大学での実証実験(1)

金沢大学学術情報リポジトリKURAの改修

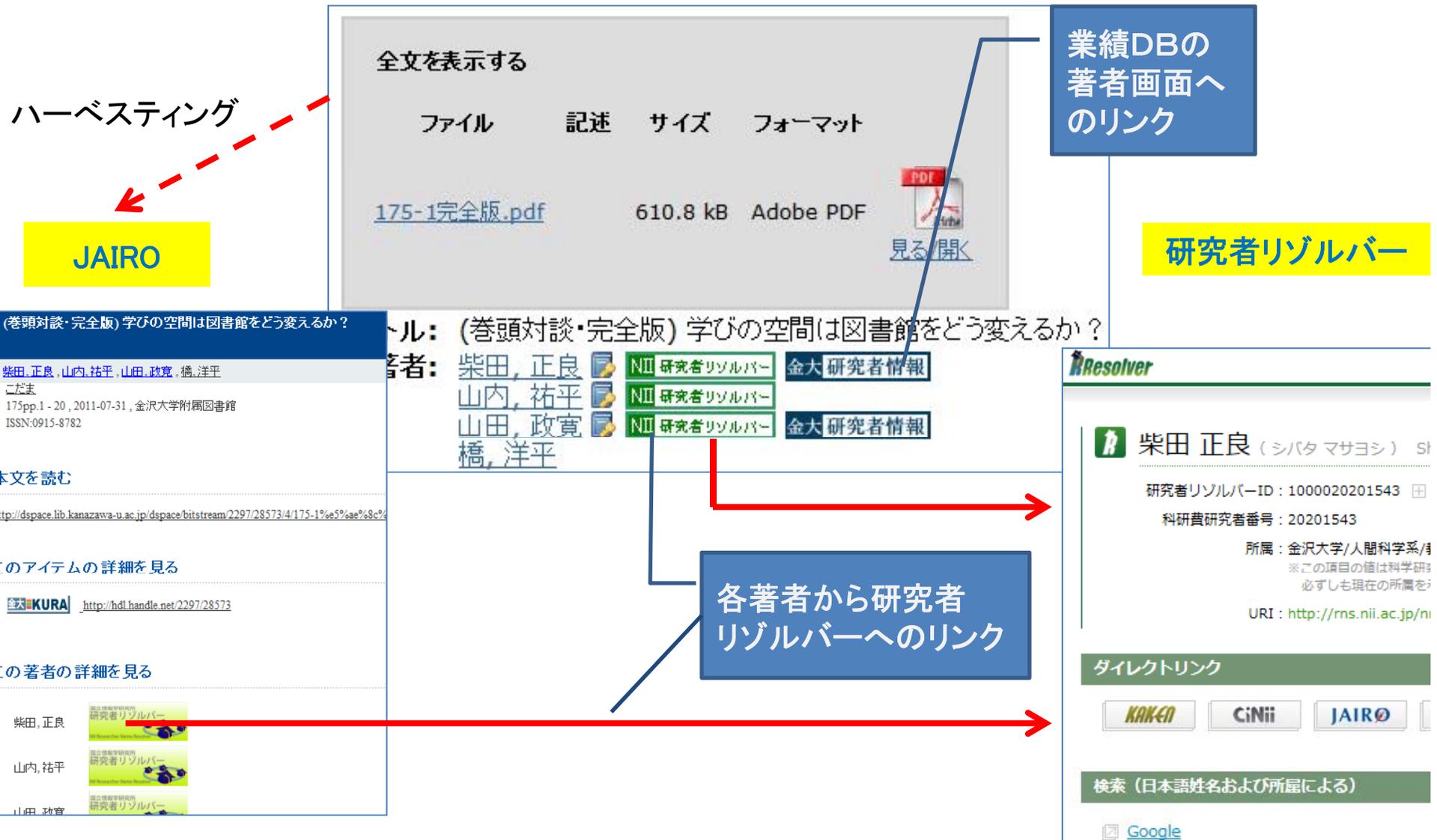
- DSpace 1.6.2 にバージョンアップ → 著者識別子用フィールド
- ハーベスティングされる設定を変更 (junii2形式で著者識別子
を出力するように crosswalk を改修
→ JAIRO でも名寄せや識別が可能に
- 各画面に研究者リゾルバー等への **リンクアイコン** を表示
- 登録画面で **著者ID** を検索, **取得** できるように改修

要素	限定子	値
contributor	author	中澤, 高志
contributor	author	神谷, 浩夫 40192546
contributor	author	木下, 禮子
contributor	alternative	Nakazawa, Tak



研究者リゾルバーのAPI
を使ったID取り込み

平成22年度 金沢大学での実証実験(2)



平成22～23年度 ワークショップの開催

ワークショップ(研究者IDサミット)の開催

- ①平成23年2月17日「名寄せのこれから」
(国立情報学研究所)
- ②平成24年2月14日「研究者と論文を結びつけるために」
(大阪市立大学)



平成23年度 複数大学での実証実験

実験参加大学

複数大学で著者識別子登録機能を実装

関西学院大学

奈良女子大学

長崎大学

北海道大学

自力構築!
大阪市立大学

DSpace1.6に改修済み

InfoLib-DBR を運用中

DSpace改修
crosswalk改修
識別子入力

crosswalk改修
識別子入力

crosswalk改修
識別子入力

JAIROの著者検索機能の強化



- お知らせ
- JAIROについて
- 利用方法
- お問い合わせ

- 良く利用されるコンテンツ
- IRDBコンテンツ分析
- JAIRO利用統計

English

2013/05/30現在 283機関 1,579,110件

簡易検索 | 詳細検索

すべて

AND キーワード

AND タイトル

AND 著者名(ID)

AND 雑誌名

AND 資料種別 一覧

AND 機関名 一覧

検索結果:

- 佐藤
- 佐藤, 三穂 (1000000431312)
- 佐藤, 三郎 (1000020092520)
- 佐藤, 三郎 (1000050046702)
- 佐藤, 亜聖 (1000040321947)
- 佐藤, 伸一 (1000020215792)

操作を選択 実行 全件選択

NA SITE 長崎大学学術研究成果ポータル 長崎大学

概要

Increased serum levels of soluble CD163 in patients with scleroderma / Shimizu, Kazuhiro, Yuichiro, Kuwatsuka, Yutaka, Okazaki, Shihoko, Tomita, Hajime, Takenaka, Motoi, Sato, Shinichi
Clinical Rheumatology, 31 (7), pp.1059 - 1064, 2012-07, Springer London
CD163 is a 130-kDa, type I transmembrane protein b...

NA SITE 長崎大学学術研究成果ポータル 長崎大学

概要

Increasing levels of serum antioxidant status, total antioxidant power, in systemic sclerosis / Eiji, Hara, Toshihide, Sato, Shinichi
Clinical Rheumatology, 30 (7), pp.921 - 925, 2011-07, Springer Verlag
Oxidative stress is one of the important factors t...

金大 KURA 金沢大学学術情報ポータル KURA 金沢大学

Low Zone Tolerance Requires ICAM-1 Expression to Limit Contact Hypersensitivity E...
Horikawa, Mayuka, Ogawa, Fumihide, Fujimoto, Manabu, Tedder, Thomas E., Sato, Shinichi
Journal of Investigative Dermatology, 129 (11), pp.2661 - 2667, 2009-11, Nature Publishing Group

平成22～23年度の成果と課題

◎成果 著者識別子登録の実装モデルの提示

△課題 **実装機関を爆発的に増やせなかった。**

機関名	全件	著者ID付与数	%
A大	40376	6190	15.3%
B大	24172	9248	38.3%
C大	7864	1848	23.5%
D大	2386	885	37.1%
E大	6219	4492	72.2%
F大	4524	1941	42.9%
金沢大	29097	10963	37.7%
合計	114638	35567	31.0%

平成25年3月18日現在（データ提供：国立情報学研究所）

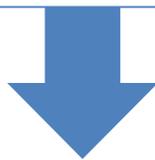
平成24年度 バージョンアップ汎用ツールの開発の検討

- ・DSpaceは簡単にバージョンアップできない。
- ・プロジェクトに対する反応が薄い。



DSpaceバージョンアップのための汎用ツールの開発を検討

- 機関リポジトリに詳しいSEに対する聞き取り調査
- 汎用ツール作成は**非現実的**だと判明



課題と展望を探るためのアンケートを実施

平成24年度 アンケートの実施

アンケートのねらい

アンケート1

全国212機関
に対する
調査

- 「登録しない/できない」理由は？
- 国公私による違いは？
- 機関リポジトリのシステム管理やバージョンアップの現状は？

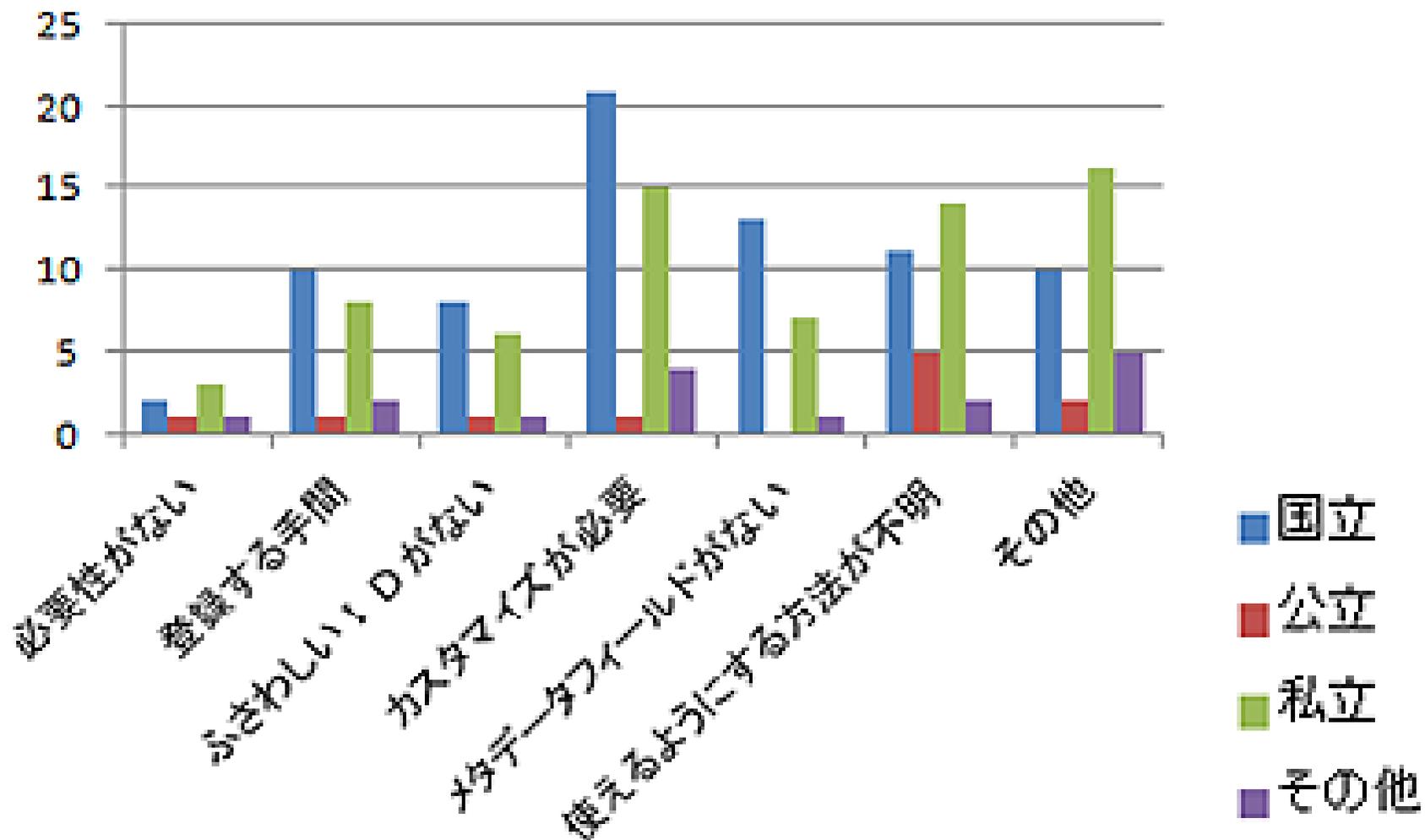
アンケート2

全国の研究者
(583人)に
対する調査

- 教員は著者IDについてどう考えているのか？
- 著者の属性による違いはあるのか？

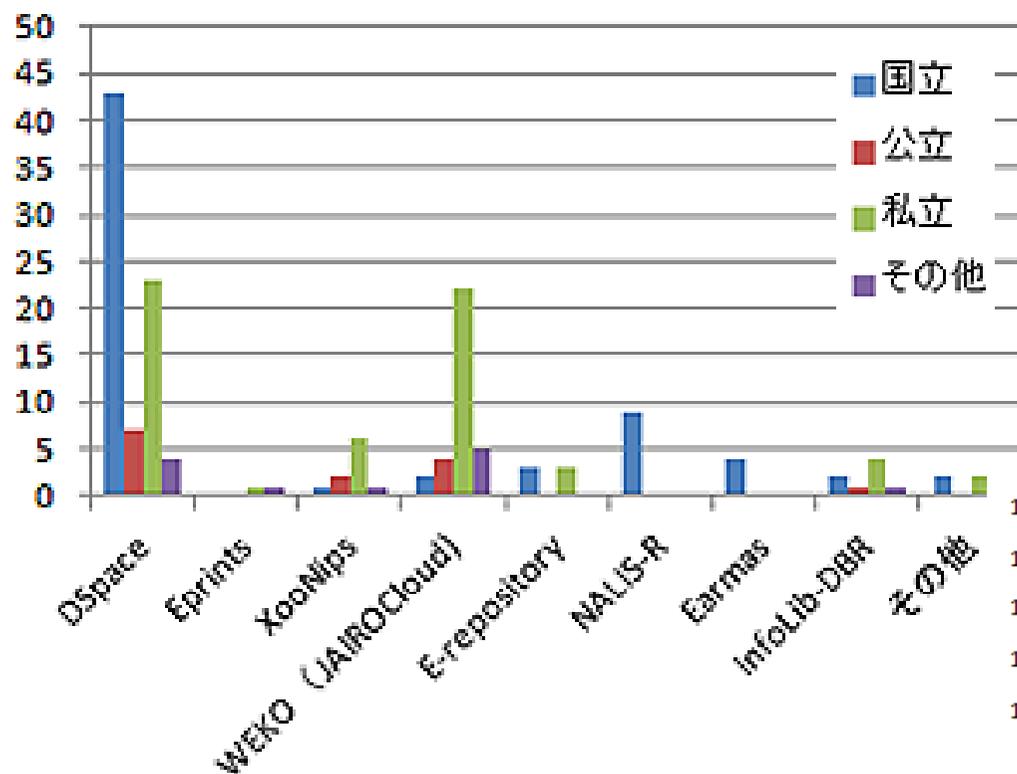
「機関向けアンケート」結果(1)

著者識別子を登録しない理由

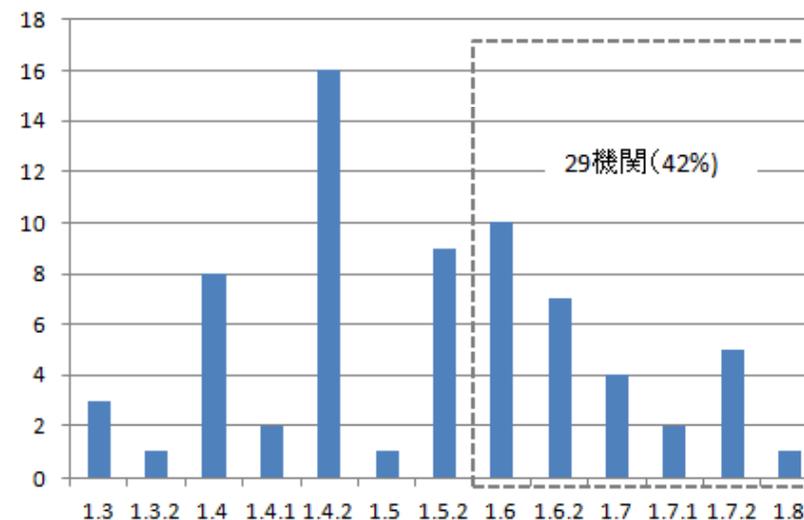


「機関向けアンケート」結果(2)

利用している機関リポジトリソフトウェア

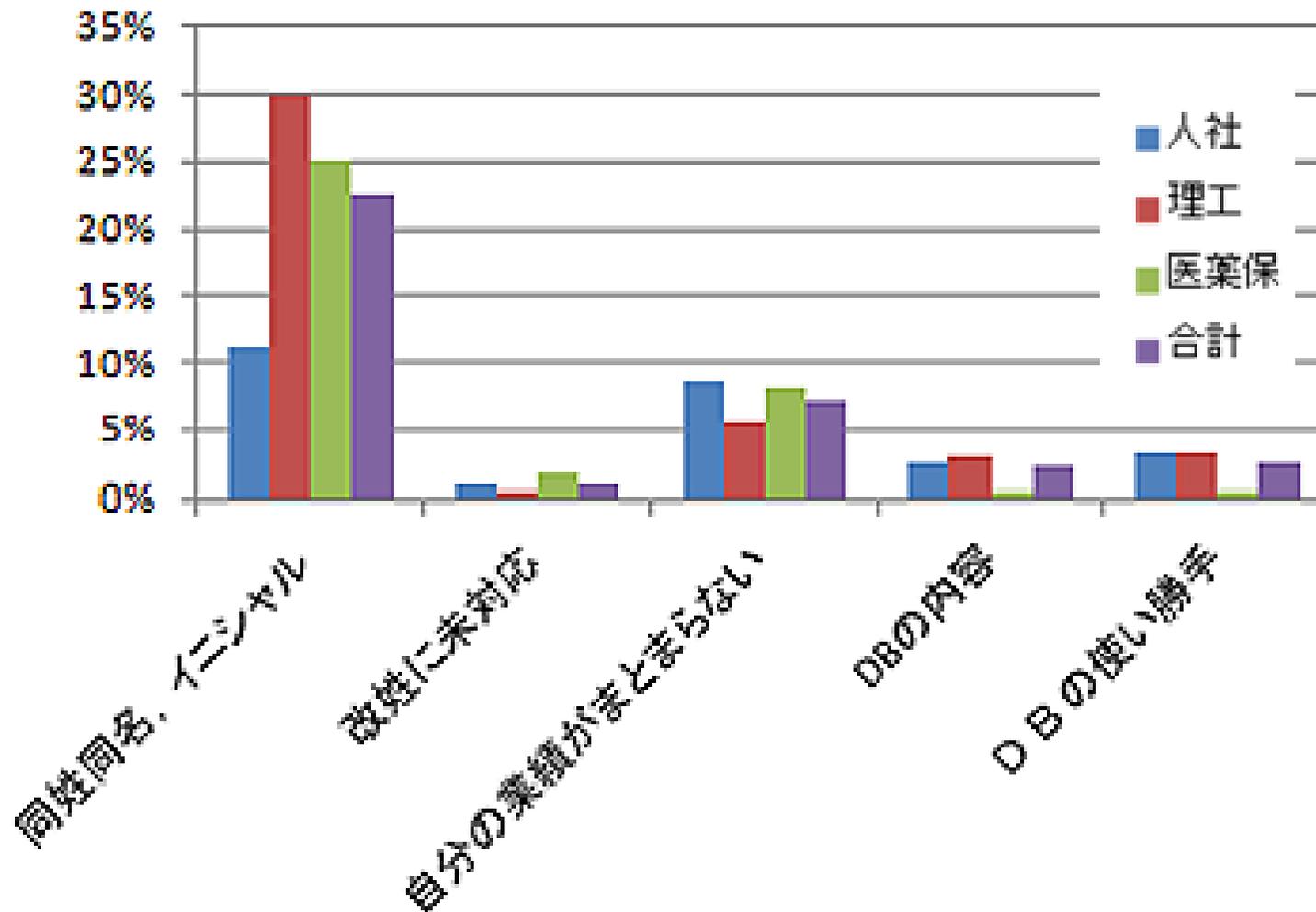


DSpaceのバージョンの分布



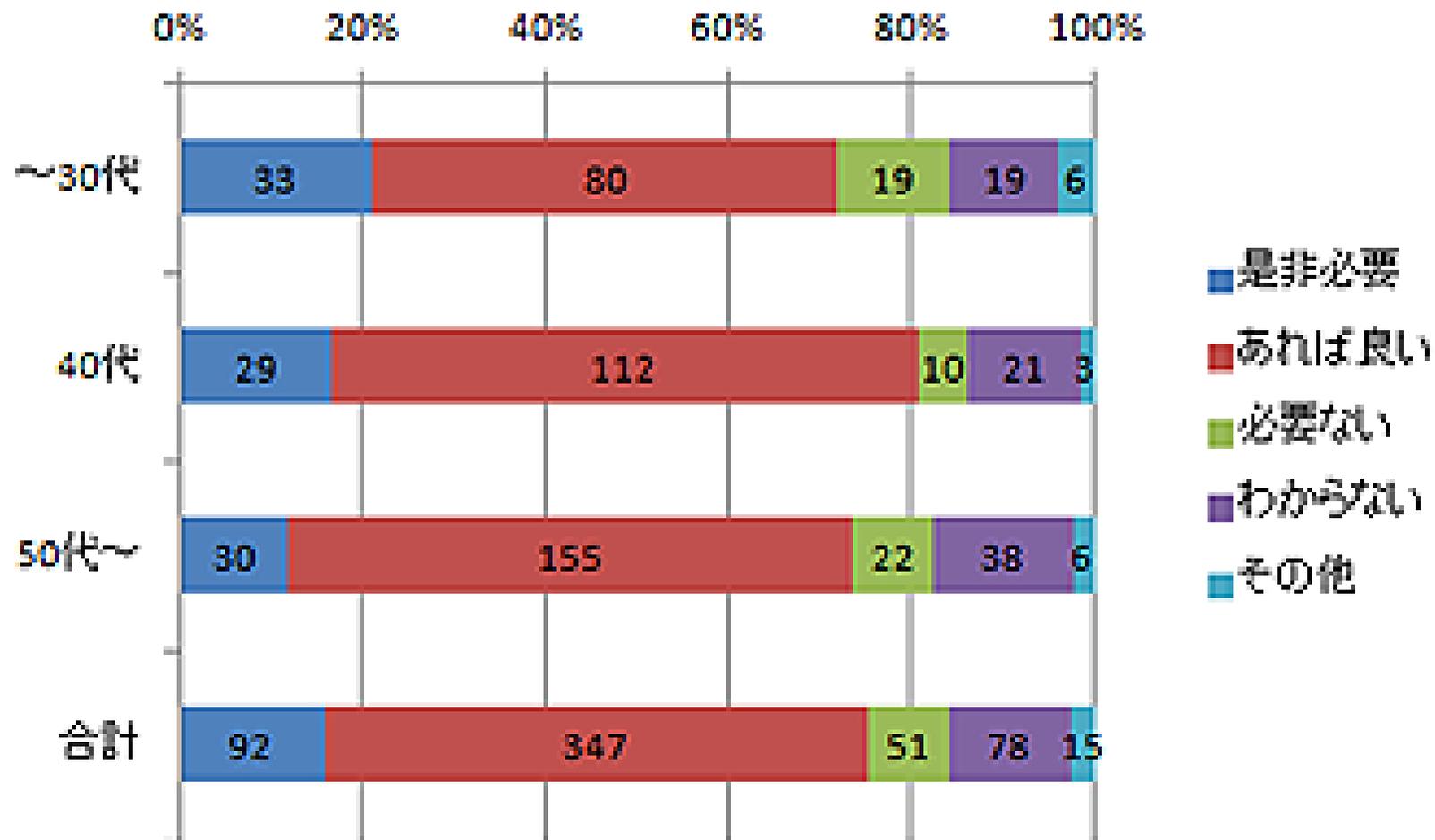
「研究者向けアンケート」結果(1)

自身の研究を検索する際、どういう点に不便を感じるか



「研究者向けアンケート」結果(2)

著者IDの必要性についてどう思うか？



まとめ：課題と展望

著者識別子普及のために求められるもの

確かな 情報提供 の必要

- 受け入れられる素地はある。
- 研究者リゾルバーの広報の必要
- 著者IDの推奨（科研費番号等）
- 国際的な動向についての啓蒙

技術的 サポート体制 の用意

- 各館単独でのシステム対応は難しい＝技術サポートコミュニティの必要
- WEKOへの期待

ご清聴ありがとうございました。